



連合香川

2024～2030 ジェンダー平等推進計画 フェーズ2

# ジェンダー平等



性別にかかわらずすべての人が尊重され、平等な責任、権利、機会を得られる職場環境・社会が必要です。そのためにも、自分の言動に無意識の偏見が無いか注意しつつ、誰とでも活発にコミュニケーションを取っていきます。

連合香川  
会長 福家良一



## 「推進宣言(トップス宣言)」

連合香川では、雇用における男女平等の推進と、労働組合における男女平等参画・ジェンダー平等をめざし、構成組織と一丸となって取り組んでいます。構成組織のトップリーダーから、推進宣言(トップス宣言)をお寄せいただきました。ジェンダー平等を組織全体の取り組みとするリーダーの指導力の発揮をお願いします。

男女平等の推進と、労働組合における男女平等参画をめざし、私たち女性委員会としてもジェンダー平等推進に取り組んでいきます。

連合香川女性委員会  
副委員長 小阪あづみ

### 自治労



香川県本部  
中央執行委員長 大熊正樹

人権が守られ、差別されないことは当たり前のことですが、現実は家庭、職場、地域社会では当たり前になってしまっています。労働組合として、女性も男性もLGBTQ+の方々も、差別・偏見なく、人として対等・平等な存在として生きていけるよう、自治労として推進をしていきます。

私たち女性部は、働く女性の声を反映し、多様な視点を大切にしながら、誰もが安心して健康で働き続けられる職場づくりを目指して運動を続けています。ジェンダー平等の実現と女性が積極的な参画推進をめざします。



### JP労組



香川連絡協議会  
議長 松岡由佳

JP労組では現在、執行機関へ女性役員比率30%を各機関で達成すること。30%を達成した機関は50%の完全なジェンダー平等を目指すこととしています。

30%を達成した機関は50%の完全なジェンダー平等を目指すこととしています。

以前に比べれば各機関大会への女性参画目に見えて増加し、これまでの取組が実を結んできたことを実感しています。しかし、女性役員配置率は全体としてクリティカル・マスに届いておらず、ジェンダー平等の過活動を依然として推し進めていく必要があります。

今回JP労組香川県協議会では私が初の女性議長となりました。意思決定の場で女性組合員の声をより汲み取れるよう尽力し、性に左右されない、誰もが働きやすい職場環境の整備に努めます。

### JAM



四国香川地区協議会  
議長 中村 亨

JAMは男性・女性問わず仲間同士の人権を尊重し、さまざまな分野において個性や能力を発揮できる職場、仕事と生活が調和できることで、一人ひとりがやりがいや充実感を感じることができるような環境づくりをめざします。



女性の働く環境は年々改善されてきてはいますが、日本のジェンダーギャップ指数は148か国中118位と依然として低い水準にあります。タダノ労働組合は、性別に関係なく一人一人が個性や能力を発揮できる職場づくりに取り組んでいます。



### 基幹労連



香川県本部  
委員長 中塚隆明

性別にかかわらず、すべての人が活躍できる社会をめざします。また、理解・浸透やそれを認める職場風土の醸成が欠かせないことから集会や研修の場を通じ、幅広い層に對して男女平等参画に取り組む必要性や課題への理解浸透に努めます。

女性組合員が少ない中、執行部の方々には女性からの視点・気持ちに寄り添っていただき意見・要望を聞き入れてくれて、少しずつではありますが職場環境が改善されています。しかし、世界から見ればまだまだ日本は遅れています。働きやすい環境へ私たちから変えていきましょう。



川崎重工労働組合 坂出支部  
女性連絡会 田中麻衣子

### 情報労連



香川県協議会  
議長 河田龍介

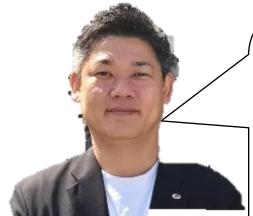
情報労連は7月の第64回定期大会で、「情報労連・第2次ジェンダー平等推進計画(2025～2029年度)」を決定し、取り組みを進めることとしています。香川県協議会はSOGIの尊重、男女共同参画推進等、すべての人が働きやすい職場や、暮らしやすい環境づくりに向け、連合香川の運動に参加・参画します。共に頑張りましょう。



ドコモ四国総分会執行委員  
小椋 美香

新年度、ドコモ四国総分会の執行委員のうち約3分の2を女性が占める体制となりました。これまで以上に女性の声を反映し、すべての組合員が尊重されるよう、性別や年代にかかわらず誰もが安心して能力を発揮できる職場環境の実現に向けて、積極的に組合活動を推進してまいります。

### JR連合



JR四国労組  
執行委員長 中村鉄平

JR四国労組は、JR連合「第5次男女平等参画行動目標」に基づき、すべての組合員が誇りを持ち安心して働き続けられることができる環境として「男女双方のワークライフバランスの実現」をめざし、各級機関と連携した活動の展開・実践を通じて、男女平等参画を積極的に推進していきます。



香川支部副委員長  
吉田朱里

JRでは24時間、365日、誰かが働いており、泊まり勤務や夜勤などの不規則勤務が当たり前となっていますが、女性が活躍するフィールドが広がっている中、女性ならではの意見をあげていけるよう女性役員同士のネットワークを強化し、男女問わず誰もが安心して働き続けられる環境づくりを進めています。

### UAゼンセン



香川県支部  
支部長 林 大介

多様な産業・業種で働く構成組織の特性を鑑み、全ての仲間が年齢、性別、働き方、国籍など差別されない、持続可能な平等な社会の実現に向け取り組んでいきます。



男女共同参画委員会  
委員長 川染 晓子

### 電機連合



東四国地方協議会  
香川地域協議会  
議長 門 裕介

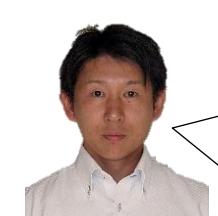
すべての労働者がゆとりと豊かさが実感できる生活の実現をめざし、それらを通じて男女平等社会を実現し、社会の制度や慣行、働き方、一人ひとりの意識や行動を変えていくことが大切だと考えます。男女がともに仕事と生活の調和を図りながら、また、さらなる多様性を抱擁しながら、性別や年齢、雇用形態にかかわらず一人ひとりの持つ能力や個性が発揮できる職場環境作りを行っていきます。ジェンダー平等の実現のためには積極的に取り組むことが重要ですので、更なる活性化、活動が加速していくよう積極的に取り組みます。



幹事・加村 理恵

昨今は、労使ともに女性比率の向上を感じられ、先人たちのご努力に心から感謝を感じます。今後はジェンダーにとらわれず、誰もが自分しさを大切にしながら活躍できる社会の実現を願い、私自身も会社や組合、社会の一員として、積極的に考え、行動していきます。

### 自動車総連



香川地方協議会  
議長 橋本拓也

すべての仲間が安心して働き、互いを尊重し合える職場づくりを進めることは、私たちの責務です。ジェンダー平等の推進は、組織の活力と信頼につながる重要な取り組みです。議長として、率先して行動し、香川地協全体でこの運動を力強く前進させていきます。



ジェイテクト労働組合  
香川支部執行委員 井上 京子

まだまだ声を上げづらい場面や無意識の偏りが残っていると思います。だからこそ、誰もが安心して意見を言える風土づくりが必要です。ジェンダー平等は女性だけの課題ではなく、すべての仲間の働きやすさにつながるものです。小さな変化を積み重ね、未来を変えていきたいと思います。

## J E C連合



香川地方連絡会  
議長 十川 弘義

私たちJ E C連合は、すべての組合員がジェンダーに関係なく、自らの価値観とライフスタイルが尊重され、平等に機会を得られる職場の実現を強く求めていきます。

多様性は力です。誰もが安心して声を上げ、挑戦し、報われる環境こそが、働く人々の可能性を最大限に引き出します。私たちは、ジェンダー平等とワーク・ライフ・バランスの推進を、労働組合の責務として位置づけ、制度の見直しと具体的な行動を通じて、変革を加速させます。

## フード連合



四国地区協議会  
議長 大谷 文啓

「築こう！food社会！2nd！」として、だれもが互いを尊重し、役割と責任を分かち合い、いきいきと活躍できる男女平等参画をはじめとした、ジェンダー平等・多様性推進社会の実現を目指しています。それぞれの方針・目標に基づき、加盟単組をはじめ、各運動体における目標の実現に向けて取り組んでいきます。

## 農団労



香川県農業団体職員労働組合  
執行委員長 木村 智哉

私たちは、すべての働く仲間が性別に関わらず尊重され活躍できる社会をめざします。いまだ残る賃金格差、昇進機会の不均等、固定的な役割意識を変えることは未来への投資です。多様な価値観と経験が組織の力を高め、誰もが働きがいを感じられる職場をつくります。私たちは対話と実践を重ね、ジェンダー平等を前進させるために、これからも行動し続けます。

## かがわユニオン



執行委員長 石井孝史

男女間格差の是正はもとより、更にジェンダー平等へ。働く者の環境を整え、能力を発揮し、適正に評価される社会へ。社会的な環境整備により、個々に合ったワークライフバランスの実現。様々な課題の解決に向けて、議論し取り組みを進めていきます。



## 国公連合



岩切 良介

国公連合香川は労働者組織として、先入観や固定観念、性別による不平等が排除された、すべての社員が安心して働く環境を整えることで、ジェンダー平等社会の実現に向けた責任を果たしてまいります。

## 労済労組



中四国支部  
香川分会  
事務局長  
藤本 乾

労働組合としても女性登用は大きな課題として捉えており、性別に捉われずすべての組合員にとって参画しやすい組合運営が必要であると考えています。

その上で、組合役員により女性の登用をしていくことが、より幅広い組合員の組合活動への参画に繋がるものと考え、引き続き女性組合員の役員登用を進めて行きたいと考えています。

組合活動の場でも、女性の比率は年々高まっていますが、まだ十分とは言えません。性別に関係なく一人ひとりが声を上げ、意見を出し合うことこそが、組合の力を高める原動力です。誰もが参加しやすく、活躍できる組合づくりを目指します。



中四国支部  
香川分会  
分会長  
高森 日奈子

## 全水道



香川県支部  
委員長 大西 孝

仕事・プライベートの空間で、生活環境の違いや自分に無い価値観に触れた時、無意識にあるべき固定観念として捉えがち…。それが仕事の中でのハラスメントや社会の中での生き辛さに繋がることがある。性別や指向性等の違いによる不利益や生き辛さのない社会の実現に向け、職場からは「連合ジェンダー平等推進計画」Phase IIを推進し、人権の尊重される社会を目指します。

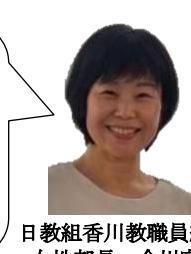
## 日教組



日教組香川教職員組合  
執行委員長 嶋村太伸

学校現場で働く教職員の半数以上は女性です。しかし、組合員は女性が少なく、組合役員も女性が少ないことから、女性参画をさらに進めます。また、教職員の中には、LGBTQ+の方もいます。組合として、性別を受け入れ、誰もが自分らしく生きられる社会と組合をめざします。

ジェンダーの視点を位置づけた学校の実現に取り組みます。また、ジェンダー平等や人権を尊重する教育であり、子どもたちが健康で幸福な人生を送るために基盤を築くことを目的とする包括的性教育を推進します。



日教組香川教職員組合  
女性部長 今川麻由

## 運輸労連



香川県協議会  
議長 辻 賢史

運輸産業にとって「ジェンダー平等」推進運動は待ったなし。私たちの産業は過去のイメージがまだまだ根強くあるように感じられます。今こそ労働組合が変わり、そして魅力ある産業にアップデートしていきましょう。



全日通労組 四国支部  
特別執行委員 原田萌衣

## 四国労働金庫労組



香川県支部  
支部長 岡 純平

四国労働金庫は職員の6割が女性であり、多くの女性職員が職場の中心となって業務にあたっています。私たちは誰もが安心して働き、夢や力をのびのび発揮できる職場をめざします。性別にとらわれず、一人ひとりが輝けるように、仲間とともにジェンダー平等の実現へ歩んでいきます。



県支部書記次長 廣瀬 菜穂

自組織含め、「ジェンダー」と聞くとまだ女性の問題と認識している方が多くいますが実際はそうではなく、男女問わず世代を問わず、まずは自分たちが当事者意識をもつことから重要だと感じます。その意識一つで、自然に周りを見渡せるようになり、多くの組合員の声を拾うことが出来、よりよい職場作りに一歩近づけると感じています。

## 私鉄総連



香川県連合会  
議長 矢野 泰彦

私たち職場の女性組合員の割合は8%であり少しづつではありますが増加しています。労働組合としては今後も女性組合員が各職場で活躍できるよう職場環境を整えて行きたいです。

## 海員組合



高松支部長 岡本 裕二

女性が働くうえでの格差や不条理を是正するため、労働組合における「男女平等参画」が進められる。社会的・文化的に作られた性差に基づく偏見や差別を解消し、性的指向・性自認を尊重し、多様性を認め合うことを「ジェンダー平等」として、様々な課題に取り組むことで、社会におけるジェンダー平等の推進に取り組む。

**多様性  
自由な選択 認める社会**

**2025 ジェンダー平等推進キャッチフレーズ**